

## 令和7年 第2予算審査特別委員会討論

### ◎新 政 会

新政会を代表いたしまして第2予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第7号までの6件に対し、可とする立場で討論させていただきます。

令和7年は滝川市にとって次世代につなぐ、様々な変化への対応と重要な決断が求められる岐路の時であると考えます。いまだ世情は混沌としており、多くの市民が将来の事や日々の暮らしに対して様々な不安を抱いていると思われるなか、市長の「決断」に基づき、「将来に無理がなく明るい見通しのある一年にする。」とした思いを込めて市が一丸となり、効率的でよりよい成果を目指すための予算編成に尽力した、理事者並びに職員各位に敬意を表します。

令和7年度は滝川駅周辺地区再生整備事業の一旦停止、滝川市内線バスの運行主体が市に移行、中空知地区の「地域医療構想・モデル推進 区域」における協議の本格化、滝川市立病院 経営強化 ランに基づく病院会計事業の強化など、多くの課題や新しい取り組みがあるなか、財政の安全性を確保しつつ、市民が安全・安寧に暮らせる街づくりの実現を主眼においた予算編成が なされたと認識しており、予算編成に沿った適切な執行を要望いたします。

以下、若干の意見を述べます。

#### 1. 国民健康保険特別会計について

疾病の早期発見・早期治療による市民の健康的な生活を護るためには、特定健康診査事業の 受診率の向上は不可欠であり、さらなる市民に対する周知のために一層の受診勧奨に努められたい。また、感染症の予防接種に対する助成事業は、現状において周知が十分に及んでいないと考えられるため、創意工夫をし、効果的な啓発に努められたい。

#### 2. 下水道事業会計について

上下水道料金の変動は市民生活に大きく影響する事柄であることから、将来に無理がなく、市民に理解が得られる為にも、令和10年度以降の料金について、審議会で検討するにあたって、市民の周知や意見聴取などに努められたい。

#### 3. 病院事業会計について

病床の削減など、診療体制を見直し、実態に即した体制を維持するとの事であるが、病院職員の雇用環境に対して、痛みの伴わない方法論を踏まえ、経営改善策の策定に努められたい。また、医師の確保が困難であることは承知しているが、医師不足が診療体制の縮小に直結するという考え方は、市民が欲する、実情に即した医療提供体制と乖離する恐れがあるため、モデル推進区域の協議を臨むにあたって、医師獲得に関しては特段に努められたい。以上の意見を付して賛成討論といたします。

## ◎市民ネットワーク

市民ネットワークを代表し、第2 予算審査特別委員会に付託されました議案第2 号から第7 号の6 件につきまして、全ての議案を可とする立場で討論いたします。

地方の人口減少が予測を上回り、年を追うごとに地方財政が困窮し公的負担増となる中、創意工夫で様々な対応に当たられている前田市長をはじめ市理事者、関係職員の皆様のご努力を心から敬意を表します。

以下に若干意見を付します。

「病院事業会計」について、地方都市の自治体病院が急性期医療の維持に苦勞されています。これは全国的な現象であり、滝川市立病院が抱える諸課題は特筆される事象ではないと考えます、病院関係者のご努力は十分認識しておりますので、今後も経営改善に向けた病院運営にさらなるご検討をお願いいたします。

「下水道事業会計」では、事前の危険回避に向けた対応に敬意を表します。今後、市民が安心して生活ができるようさらなるご努力をお願い申し上げます。他の特別会計の収入については、これまでと同様に保険料、利用料等の適正な受益者負担の徴収に、より一層当たられたい。

以上を申し上げまして討論といたします。

## ◎会派清新

私は会派清新を代表し、第2 予算審査特別委員会に付託されました、令和7 年度予算、議案第2 号から第7 号までの6 件につきまして、全ての議案を可とする立場で討論いたします。

はじめに、物価高騰や著しい少子高齢化などの厳しい情勢の中、本市の財政運営に努力されている市理事者並びに職員の皆様に心からの敬意を表します。以下、若干の意見を付して討論といたします。

### 1. 国民健康保険特別会計

本市の国民健康保険税率が道の基準よりも低いため不足分を基金から繰入れし、原稿税率を変えない市民への配慮を評価する。しかしこの繰入れによる税率維持は、長い目でみると令和12 年の道内の統一保険税率の実現までの継続は厳しいのではないかと。現在行っている収納率向上推進事業などの様々な取り組みを税収安定の柱としながら、例えばジェネリック医薬品を推奨する活動を強化して医療費の適正化を図ることや、段階的な税率改定を検討するなど、将来的な市民負担を最小限にしつつ支出を抑制するために、多角的な政策による財政安定化に励まれたい。

### 2. 公営住宅事業特別会計

円滑に公営住宅の建替や整備が進んでいることを評価する。令和5 年度は65 歳以上の独居老人の割合が入居者の42.8%であると伺った。自宅内や周辺での不慮の事故や、認知症等の発見の遅れによる火災の危険性、特殊詐欺被害など独居の高齢者が直面する日常生活

のリスクは数多く存在しており、その点デイサービス併設での見守りのナースコールもある見晴団地は、大変理想的であると考えている。エレベーターや手すりだけでなく、例えば共用部分に AI 通報機能を搭載した防犯カメラの設置や、町内会や包括支援センターなどと綿密に連携する等、ハード面とソフト面の両輪で住民の安心安全を守るためのフォローを期待しする。

### 3. 後期高齢者医療特別会計

介護保険特別会計にも通じるが、全ての団塊世代が後期高齢者となる 2025 年問題を迎え、今までに経験したことのない超高齢化社会に突入する。本市でも人口のおよそ 23%に当たる 8,249 人が後期高齢者広域連合の被保険者になると伺い、受診率の積算は 15.82%とのことだが、健康寿命の促進と医療費抑制の両立が一層重要になってくると考えるため、より多くの後期高齢者が予約医療や検診を受けられる環境づくりに努めていただきたい。

### 4. 下水道事業会計

令和 2 年から今年度までの間に、46 キロもの汚水の管路環境の調査を実施し、来年度からは令和 11 年までの雨水の管路環境の調査を予定しているとのことだが、埼玉県のような悲惨な事故や防止するためにも、昭和中期に敷設されたような古い管路についてはこれからも丁寧な調査と速やかな整備及び維持管理強化に励まされたい。

### 5. 病院事業会計

現状の改善策として、診療体制の見直し、現状分析と収益増加策、経費の削減、この 3 つの最優先に取り組むとのことだが、医療サービスの質や働く人達の環境を維持しつつバランスを取ることがこの 3 つを行う上で最も留意すべきことと考える。特に、診療体制の見直しと経費の削減は、患者の待ち時間増加や医療従事者 1 人あたりの業務過多・疲労を発生させるリスクがあるため、まずは光熱費や物流コストなどの間接費の見直しを検討し、予防医療や検診事業の収益増加策など、患者と医療従事者に極力影響がないように工夫して財政健全化を図っていききたい。

以上をもって討論とする。

## ◎公明党

私は公明党を代表し、第 2 予算審査特別委員会に付託されました議案第 2 号から第 7 号までの 6 件につきまして、可とする立場で討論いたします。猛威を振るったコロナ感染も今では私たちの生活を脅かすことなく、コロナ感染前の生活を取り戻すことができるようになって一方で、物価高騰に苦しむ生活は、いまだに明るい兆しが見通せない状況です。このような経済情勢の中、限りある財源の中で、新たな取り組みや将来を見据えた計画を取り入れた予算編成に理事者・職員の皆様に敬意を表します。

以下、当委員会各会計に共通することに対し意見を述べます。

各会計に共通するものは、安定的な事業運営によって安心安全な市民生活をいかに提供できるかであります。小さな地方都市において、市立病院の役割は非常に大きく、この街で

暮らしながらも万が一の時には、急性期医療を受けることができるという安心感です。また、国保・介護においても特に高齢者、自営業者、低所得者に対するサービスがあり、安心感を与えてくれます。公営住宅、下水道は補修整備を継続することで現在、将来に向けての安心な暮らしを私たちに提供してくれます。今回、駅前再整備計画を一旦立ち止まったことは残念でありましたが、先にあげた様々なサービスを市民に提供することが優先されたことに理事者・職員の皆様の決意を感じる予算編成であったと感じ、賛成討論いたします。